

私達夫婦は結婚して5年が過ぎ、結婚当初はラブラブでしたが、徐々に夫婦の営みもなくなりました。

しかし、私も妻もまだまだ欲求不満です。

妻から求められる事もありますが、何故か心の底から興奮する事はありません。

容姿も良く体もスケベな体系なので、「こいつエロいなー」と常に思っています。

でも、心から興奮しません。妻の裸を見ても興奮しないのです。

しかし、妻の裸が他人に見られると思うと、興奮してしまいます。

妻は、私の事を愛してくれています。だから、浮気をする事は絶対にありません。

ですが、他の男に触られるのは別に嫌じゃないというタイプです。

妻とは中学、高校からの同級生でしたが、中学高校時代は全く接点がありませんでした。

大学時代に派遣のバイト先で出会いました。

そして、私が彼女に一目惚れをして告白し、付き合うようになりました。

社会人になり結婚をし、現在に至ります。

妻のプロフィールは年齢：30歳 身長：160cm 体重：51kg

体型：ややぽっちゃり（Gカップ）

名前は、西森 桃香です。

今は私と結婚して高林 桃香です。

私の名前は高林 京介 30歳。

私達夫婦は共に SNS 等は登録はしているが、頻繁に行う事はせず、昔の友人との

交流もほぼない。

そんな時、どうやってたどり着いた知らないが妻の SNS に中学の同窓会開催の案内があった。

妻「ねー、こんなの来たけどどうする？行く？」

私「え～面倒くさいな・・・！」

妻「だよねー・・・中学時代の知り合いが居たら声掛けてって書いてあるけど、私中学同級生で今も連絡取ってる人いないんだよね・・・」

私「俺も同じだよ・・・どうしようかね・・・」

妻「私達が結婚したの知ったらみんな驚くだろうね！笑」

私「だろうな。まあ、驚かせたい気持ちは有るけどね。笑」

妻「そうだね。でも、どんな顔して会ったら良いんだろうね・・・」

私は今の色気が漂う妻を皆に自慢したいという気持ちが強く、絶対に会わせたいと思っていた。

そこである事を言い出す。

私「じゃあさ、お互い結婚してるの隠して、独身って事にしようよ！」

妻「えー、何でそんな事するの！？」

私「だって、自慢したいじゃん！俺の嫁さんはこんなにエロいんだぞ！ってさ！」

妻「何それ～！変な事言わないでよ～！」

私「ごめんごめん！でも、俺は自慢したいんだよ！こんな美人な嫁さんいるんだぜってみんなに言いたいんだ！」

妻「じゃあ最初から言えばいいじゃない！何も隠すことないのに～」

私「まあまあ、そこは大人の事情ってやつだ！そっちの方が面白そうだろう？」

妻「まあ、そうだけどさー・・・」

私「大丈夫だって！俺がちゃんとサポートするからさ！」

妻「うん。分かった。じゃあ、出席の連絡して、あなたの事も「ただの知り合いとして」伝えておくね！」

私「ありがとう！頼むね！」

妻「何着てこうかな～？」

私はここで妻の服装について提案する。

私「折角だから、セクシー系の衣装着ていったらどう？」

妻「えっ！？なんで同窓会なんかにそんな格好しないといけないのよ！！」

私「だって同窓会なんて「あわよくばワンチャン！！」とか思ってる奴いっぱい居ると思うよ？そこに普段と違う姿見せたらきっとビックリするよ！しかも、同窓会で会う奴らなんて、ほとんど覚えてないでしょ？」

妻「確かにそうかもだけど・・・あなたは嫌じゃないの？」

私「全然！むしろ見たい！！見てみたい！！！」

妻「でもそんな服装でいったら、私絶対ナンパされちゃうわよ？」

私「お前って結構自信過剰だなー！笑」

妻「なによー！失礼しちゃうわね！」

私「大丈夫だってば！もし、何か言われても俺に任せとけ！」

妻「うーん、わかったわ！あなたがそこまで言うなら。」

こうして私達は、同窓会に参加する事にしたのだった。

そして当日、私は同窓会会場となる居酒屋に向かう。

すると、妻が先に到着していた。

妻は既に中学時代の同級生と会い、話に華を咲かせていたようだ。

妻は、とても色っぽく感じた

それは服装も関係してる。

妻は黒の透けたスカートを履いてる。

露出が高い服を着てる女性は他にもいるが、妻の場合は体のラインが強調されており、特に胸の谷間を強調している。

そしてなにより、下半身が透けている・・・あらゆる部分が！！

これはヤバい！非常にエロい！黒の透け透けスカートだ。

露出度が高く、股間の大事な部分まで見えてしまいそうだ。

というか大事な部分とお尻は丸出し状態だ。